

科目名

担当教員

開講時期

公益社会演習 a・b

國眼真理子・澤邊みさ子  
・武田真理子・林久美子

前期

【テーマ】

小学生を対象にした「公益を考える授業」の開発と実践

【講義概要】

公益とは「行政、企業、NPO など、また市民一人ひとりが、自分を越えた他者への尊重を原点とし、生活、労働、地域社会、環境などをより良く調和のとれたものにするための活動や考え」であり、現在、地域社会や国際社会が抱える様々な課題の解決のためには、立場を超えて、一人ひとりの個人が公益の視点を理解し、それに添った考えを持ち、活動を行うことが求められている。本演習では、家族、地域コミュニティや学校などの多様な主体に支えられ、生活を送る子どもの頃に「公益」の視点で物事を考える機会があることの重要性に立脚し、そのための「公益を考える授業」の具体的な方法と内容について庄内地域の小学校教諭の協力を得ながら研究・開発を行う。学期末には実際に小学生を対象に授業を行い、その結果、課題等について報告書にまとめる。

(本演習は日本財団助成事業「Koeki Kids Project」の一環として開講する。)

【講義のねらい・到達目標】

- ・小学生を対象にした「公益を考える授業」の研究・開発を通して、「公益」への理解を深める。
- ・小学校における授業の実践を通して、生徒とのかかわり方や、わかりやすく伝える方法について学ぶ。

【授業計画】

- ① ガイダンス：演習の目的と概要説明（國眼・澤邊・武田）
- ② 事前学習（1）小学校教育の目標、授業内容・方法に関する学習（國眼真理子）
- ③ 事前学習（2）「公益」概念の整理（澤邊みさ子・武田真理子）
- ④ 事前学習（3）酒田市の小学校における「公益」教育の実践に関する学習（林久美子）
- ⑤ 小学校（協力校）における授業等の見学（林久美子）
- ⑥ 「公益を考える授業」の研究・開発（1）各グループごとの話し合い、授業内容の検討（澤邊・武田）
- ⑦ 「公益を考える授業」の研究・開発（2）各グループごとの授業内容の決定（澤邊・武田）
- ⑧ 「公益を考える授業」の研究・開発（3）各グループごとの授業内容の準備（澤邊・武田）
- ⑨ 「公益を考える授業」の実践（1）＜グループA＞（國眼・澤邊・武田）
- ⑩ 授業の実践（1）の振り返り（國眼・澤邊・武田）
- ⑪ 「公益を考える授業」の実践（2）＜グループB＞（國眼・澤邊・武田）
- ⑫ 授業の実践（2）の振り返り（國眼・澤邊・武田）
- ⑬ 報告書の作成（授業の内容、結果、課題等についてのまとめ）（國眼・澤邊・武田・林）
- ⑭ 報告書の完成、発表の準備（國眼・澤邊・武田）
- ⑮ 演習の成果発表（協力校の教諭、本学学生・教職員、地域住民などに公開する）（國眼・澤邊・武田・林）

【評価方法】

出席、調査活動への参加貢献度、報告書の内容によって評価を行う。

【その他（テキスト、参考書、注意事項等）】

- ・テキストは指定しない。学習内容に添ってプリント、資料等を配布する。参考文献についても適宜、紹介する。

【受講生への一言】

- ・演習は時間割上の日時と異なる時間に行うこともある。ガイダンスで予定表を配布するので、必ず出席すること。
- ・後期開講「公益社会演習」では本受講生を対象に、保護者、中高生を対象としたプログラム開発を進める。